令和３年度
「５つのあそびーむ」紹介

作：スタッフみおな

「学童保育あそびーむ」のコンセプト　～５つのあそびーむ～

1. そといこうよ！
2. やりたいはだいじ
3. みんなちがうがあたりまえ
4. あそびーむはなかま
5. みんなでつくる、いごこちよいばしょ

「非認知的能力」の土台となる“文化”として、スタッフが日頃の保育の中で大切にしていることを子どもが言いやすい5つのフレーズにまとめ、子どもたちと共有しているのが「5つのあそびーむ」です。

「学童保育あそびーむ」のコンセプト　～５つのあそびーむ～

1. そといこうよ！

『興味関心の幅を広げてほしい』という思いが込められた言葉です。

「外」には、水・泥・虫・実・草木・天気などの自然や出会える人など、子どもの「やりたい！」を刺激する偶発的で魅力的な環境があふれています。

この「外」での体験ができるよう、環境を整えている「練馬区立こどもの森」で毎日遊ぶことが、この学童の一番の特徴です。

「学童保育あそびーむ」のコンセプト　～５つのあそびーむ～

2. やりたいはだいじ

　『主体的な意欲』を大切にしたいという思いが込められた言葉です。
　「やっちゃいけない」ことが子ども達の環境に増えてきた今日、「やりたい！」の選択肢が少なく、刺激的な環境と出会っても自分で選べない子が増えてきています。
　子ども達には、自分の「いいこと思いついた！」が大事にされる体験が必要です。できるだけ何でもやれる環境を整え、「やりたい！」が「できた」ことで生まれる自己肯定感を育みたいと考えています。

「学童保育あそびーむ」のコンセプト　～５つのあそびーむ～

3. みんなちがうがあたりまえ

『他者に興味を持つこと』『互いの違いを楽しむこと』を大切にしたいという思いが込められた言葉です。

国際化、LGBT、共生社会など、人間の多様性を尊重することが重要視されています。人の考えも自分の考えも大事にすることが、相手を尊重する肝だと考えます。

お互いに「いいね！」が言い合える関係になるには、時には「違い」を主張し合ったり、あの子の面白い世界を体験したりして、ちょっとずつ自分のキャパシティが増えていく…。

何だかあの子がいないと物足りない、そんな唯一無二の『個』が混じり合う面白さを知ってほしいと考えています。

「学童保育あそびーむ」のコンセプト　～５つのあそびーむ～

4. あそびーむはなかま

『仲間感』の良さを知ってほしいという思いが込められた言葉です。

「あそびーむ」の子が活躍していると嬉しくなる、悲しんでいると「どうしたの？」と気になって声をかける、誰かのヒヤッとする事件があるといつの間にか全員集合している、仲間といるといつもよりもチャレンジしてみたくなる、そんな経験は、生涯その子の心の支えになると信じています。

「あそびーむ」の仲間で良かったと思える場、いつでも思い出すと心が満たされる場を目指しています。

「学童保育あそびーむ」のコンセプト　～５つのあそびーむ～

5. みんなでつくる、いごこちよいばしょ

『居心地良く暮らす生活力』『自己実現の力』を伸ばしてほしいという思いが込められた言葉です。

学童は「生活」もしていきます。「綺麗」という感覚も「落ち着く」という感覚も個々によって違います。大人数での生活は、広さも音も時間も、家庭での生活とは別物。この場所で生活するために、自分もみんなも居心地よく過ごすために、やらなければいけないことが出てきます。みんなのために、みんなが行動します。

場を作る主体者として、「あそびーむがもっとこうなったらいいのに」というアイディアを伝える場の「こども会議」。自分の意見や行動が誰かを笑顔にする、そんな力が自分にもあるんだ！とさらに自分の場のために行動する力がみなぎってほしいと願っています。

＼ご入会、お待ちしております／

子ども達の様子は、
「あそびーむHP」の「Photoギャラリー」
でも紹介しています。ぜひご覧ください！